

2004 地震・火山こどもサマースクール～Mt.Rokko のナゾ～

Secrets of Mt.Rokko: The Schoolchildren's summer course of seismology and volcanology.

数越 達也[1]; 地震・火山こどもサマースクールインストラクター・作業部会・実行委員会一同 橋本 学[2]
Tatsuya Sugoshi[1]; Hashimoto Manabu Working group for Schoolchildren's summer course of seismology and volcanology[2]

[1] 須磨友が丘高; [2] -
[1] STSHS; [2] -

<http://www.mmjp.or.jp/zkkss/rokko/>

要旨

2004年8月7～8日の2日間、神戸市人と防災未来センター、六甲山などを会場とし、一般から募集した児童・生徒を対象として表記のサマースクール(主催:社団法人日本地震学会、特定非営利法人日本火山学会、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター、兵庫県)を企画・実施したので簡単な報告する。なお、詳細な情報とスタッフ名簿については

<http://www.mmjp.or.jp/zkkss/rokko/>を参照してほしい。

経緯と企画概要

日本地震学会と日本火山学会が共同して行ってきた「地震・火山こどもサマースクール」は、今回は「第5回地震・火山こどもサマースクール Mt.Rokko のナゾ」として神戸市で開催された。1999年は静岡県函南町の丹那断層、2000年は北海道の有珠山、2001年は伊豆大島、2003年は富士山をフィールドに、主に地元の児童・生徒を対象とした「地震・火山こどもサマースクール」を開いてきた。いずれも過去に大きな自然災害に見舞われた土地であり、被災地で児童・生徒によりよい地震・火山教育を行いたいというのが企画の目的である。

これら一連の企画の教育方針や実施上の工夫は、次の通りである。

1. 第一線の専門家が、こどもの視点にまで下りて、地震・火山現象のしくみ・本質を直接語る。
2. 災害だけでなく、災害と不可分の関係にある自然の恵みを伝える。
3. 初めから解答を与えてしまうのではなく、まず課題を与えて考えさせ、与えた材料を有機的に結びつけることによってこどもが自分なりの答えがみつかるようにリード・サポートする。

日程は8月7日と8日の日帰り2日とし、第1日目は実験と講義、第2日目は六甲山の巡検を行った。

Mt.Rokko のナゾ

小学校5年生から高校2年生までの児童・生徒が日本各地から計21名参加した。企画・運営には全国よりボランティアで研究者・教師などが51名参加した。

8月7日神戸市灘区にある「人と防災未来センター」へ集合し、開会式とオリエンテーションを行い、2日間を通じて取り組む課題を与えた。その後、地震・火山に関する講義と実験を行った。

8月8日午前中は新神戸～布引き地域と六甲山上で野外観察を行なった。午後は「人と防災未来センター」でパネルディスカッションを行ない、その後閉会式を行った。閉会式では参加者全員に「なまず博士」の認定証を授与した。

野外での地形・地質観察や室内実験をゲーム形式での説明をしながら児童・生徒に体験させることによって、火山・地震災害や津波・断層などについての基礎知識を学び、大地の営みについての理解を深めさせた。観察地点では、案内者の一方的な解説とならぬよう、参加者を年令を分散させたチームに分けて共通の課題をあたえ、よい質問やよい回答をしたチームにはカードをあたえ、集めたカードの枚数を競わせるゲーム方式をとった。

今回の企画で得たこと学んだことを参加者がパネルディスカッションとして発表した。

謝辞:当事業は阪神・淡路大震災10周年記念共同企画事業および2004年度防災教育チャレンジプラン採択事業の助成金により実施された。

2004 地震・火山こどもサマースクール実行委員会実行委員長:橋本学
事務局長:中川和之
コーディネータ代表:数越達也